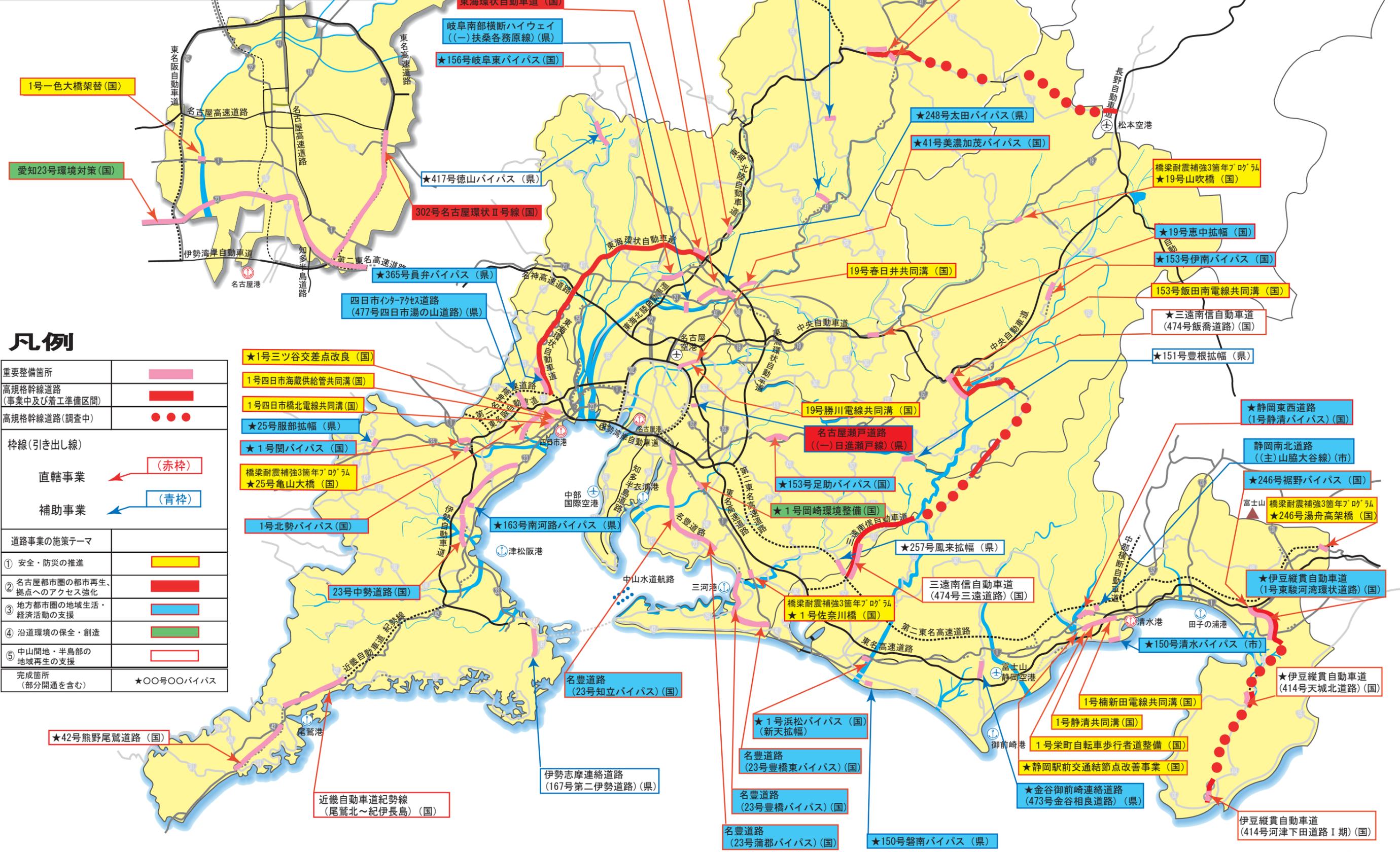


道路関係事業 主要事業位置図



凡例

重要整備箇所	■
高規格幹線道路 (事業中及び着工準備区間)	■
高規格幹線道路(調査中)	●●●
枠線(引き出し線)	
直轄事業	(赤枠)
補助事業	(青枠)
道路事業の施策テーマ	
① 安全・防災の推進	■
② 名古屋都市圏の都市再生、 拠点へのアクセス強化	■
③ 地方都市圏の地域生活・ 経済活動の支援	■
④ 沿道環境の保全・創造	■
⑤ 中山間地・半島部の 地域再生の支援	■
完成箇所 (部分開通を含む)	★〇〇号〇〇バイパス

産業、国際競争力

名古屋港等国際競争力強化プロジェクト 【まんなかプロジェクト1】

中部国際空港国際競争力強化プロジェクト 【まんなかプロジェクト2】

中部地域の主要港湾及び中部国際空港において、背後地域からのアクセス性を向上させ、所要時間の短縮や物流コストの低減等、物流の効率化等を支援します。

名古屋港、四日市港、三河港、衣浦港及び津松阪港等を発着地とする物流の効率化の支援等のため、一般国道23号名豊道路、及び中勢道路等の整備を推進します。

平成19年度は、一般国道365号員弁バイパスの全線を暫定供用し、国際標準コンテナ車通行支障区間を解消します。

- 一般国道1号北勢バイパス<三重県>【国】
- 一般国道23号名豊道路<愛知県>【国】
- 一般国道23号中勢道路<三重県>【国】
- 一般国道365号員弁バイパス<三重県>【県】



三河港の物流を支援する名豊道路

御前崎港、富士山静岡空港及び東名高速道路等を連絡する金谷御前崎連絡道路の整備を推進します。

平成19年度は、一般国道473号金谷相良道路の全線を暫定供用し、当該事業区間の国際標準コンテナ車通行支障区間を解消します。

- 金谷御前崎連絡道路(一般国道473号金谷相良道路)<静岡県>【県】

特区制度を活用した産業活性化支援プロジェクト 【まんなかプロジェクト3】

産業集積や新規産業創出を目指す四日市市の「技術集積活用型産業再生特区」や、先端技術産業集積地域の形成を目指す三重県中勢北部地域の「複合型産業集積特区」等、各特区の産業活性化を支援する道路整備を推進します。

平成19年度は、一般国道1号関バイパスにおいて一般国道1号と名阪国道とを直接接続する名古屋方面のランプを供用します。

- 一般国道1号関バイパス<三重県>【国】

都市再生、国際化

名古屋都市圏リーディングプロジェクト 【まんなかプロジェクト5】

ITS（高度道路交通システム）の普及や環状道路等の整備による交通渋滞対策の推進等により、先進的な都市交通の圏域を形成します。

- 一般国道302号名古屋環状1号線<名古屋市>【国】

ETCの通信技術(DSRC)を活用した公共駐車場料金決済サービスを本格実施します。

- 一般国道19号大曾根国道駐車場DSRC<名古屋市>【国】



スマート出入庫実験
大曾根国道駐車場DSRC

大型車の通行が多く、沿道環境の悪化が著しい一般国道1号岡崎地区等において、低層遮音壁等を含む環境施設帯の整備を推進します。平成19年度は、一般国道1号岡崎環境整備事業の一部を完成します。

- 一般国道1号岡崎環境整備<愛知県>【国】
- 愛知23号環境対策<愛知県・名古屋市>【国】



整備前

整備後

一般国道23号名古屋市港区品川町地区

拠点市街地再生プロジェクト【まんなかプロジェクト6】(都市圏交通の円滑化)

岐阜、静岡、四日市、浜松、豊橋など各拠点都市の交通渋滞の緩和や沿道環境の改善、及び交通安全の確保のため、幹線道路の整備や交差点改良を推進することにより、拠点市街地の再生を図ります。

平成19年度は、一般国道1号浜松バイパス(新天拡幅)の8車線化、一般国道19号の一部4車線拡幅(恵中拡幅)、一般国道41号美濃加茂バイパスの全線暫定供用、一般国道41号高山国府バイパスの一部暫定供用、一般国道153号足助バイパスの一部暫定供用、一般国道153号伊南バイパスの一部暫定供用、一般国道156号岐阜東バイパスの一部4・6車線化、及び一般国道246号裾野バイパス沼津IC南交差点の立体化を行います。

- 一般国道1号浜松バイパス(新天拡幅)<静岡県>【国】
- 一般国道19号恵中拡幅<岐阜県>【国】
- 一般国道41号美濃加茂バイパス<岐阜県>【国】
- 一般国道41号高山国府バイパス<岐阜県>【国】
- 一般国道153号足助バイパス<愛知県>【国】
- 一般国道153号伊南バイパス<長野県>【国】
- 一般国道156号岐阜東バイパス<岐阜県>【国】
- 一般国道246号裾野バイパス<静岡県>【国】
- 岐阜南部横断ハイウェイ(一般県道扶桑各務原線)<岐阜県>【県】
- 名古屋瀬戸道路(一般県道日進瀬戸線)<愛知県>【県】



8車線化が進む浜松バイパス(新天拡幅)

III 都市圏の形成

●東海環状ものづくり回廊プロジェクト

【まんなかプロジェクト7】

名古屋東部丘陵、東濃地域、鈴鹿山麓などに展開する優れた研究開発機能を東海環状自動車等によって結びつけることにより、産業の育成を支援します。

平成19年度は、東海環状自動車道の美濃関JCTから四日市北JCT（仮称）間において、引き続き事業等を推進します。

◆東海環状自動車道<愛知県・岐阜県・三重県>〔国〕



延伸する東海環状自動車道

コラム 名古屋圏における環状道路の整備効果

- 東海環状道、伊勢湾岸道等の開通（～H17.3）により、ゴールデンウィーク中の渋滞が約5割減少。今年も同様の傾向。

●ゴールデンウィーク期間中の渋滞状況の比較
～2004年 VS 2005年 VS 2006年～

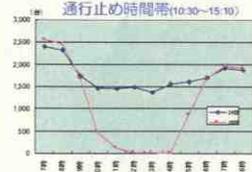


- 去る7月25日に発生した東名（名古屋IC～春日井IC）通行止め時に、東海環状道が迂回路として機能。最大330台/時間の交通が迂回。

非常時の迂回機能



①東名（春日井IC間～名古屋IC上り）



②伊勢湾岸道（豊田東JCT～豊田東IC間下り）



- 東海環状道の開通により物流の効率化が進展。東海環状道沿線に工業団地が続々と進出。開通15年前の約4倍。

国土軸の強化

東海道・南北大交流プロジェクト 【まんなかプロジェクト8】

「開かれた中部」として、日本のまんなかに位置する優位性を活かし、交通拠点の整備により関東圏、関西圏、及び環日本海地域との交流を拡大します。

静岡都市圏の交通渋滞の緩和や沿道環境の改善、及び交通安全の確保のため、静岡東西道路(一般国道1号静岡バイパス)、静岡南北道路(主要地方道山脇大谷線)の整備を推進します。

平成19年度は、静岡バイパス 八坂～鳥坂IC間の4車線化、及び昭府IC(仮称)～平和IC(仮称)間の立体化を行います。

静岡東西道路(一般国道1号静岡バイパス)<静岡市>〔国〕

静岡南北道路(主要地方道山脇大谷線)<静岡市>〔市〕



整備前

整備後(イメージ)

一般国道1号静岡バイパス

東海・東南海・南海地震等による津波浸水域を回避し、異常気象時の安全性や信頼性の高い道路として近畿自動車道紀勢線の整備を直轄高速方式により推進します。

近畿自動車道紀勢線(尾鷲北IC(仮称)～紀伊長島IC(仮称))<三重県>〔国〕

コラム 中山間地域の新たな連携効果

・伊那木曾連絡道路（権兵衛峠道路）の開通（H18.2）により、高次医療施設の選択肢が拡大。

病院間の搬送時間が約15分短縮（木曾病院→伊那中央病院）。

・権兵衛峠道路の開通により、伊那～木曾地域の観光客が増加。

木曾町「義仲館」では、開通1年前の約2.5倍。

■伊那～木曾地域の主要医療施設



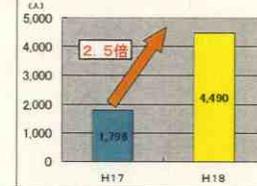
従来：木曾病院→松本市内の病院（約65分）

現在：木曾病院→伊那中央病院（約50分）

■伊那木曾地域の主要観光施設



義仲館の来館者数

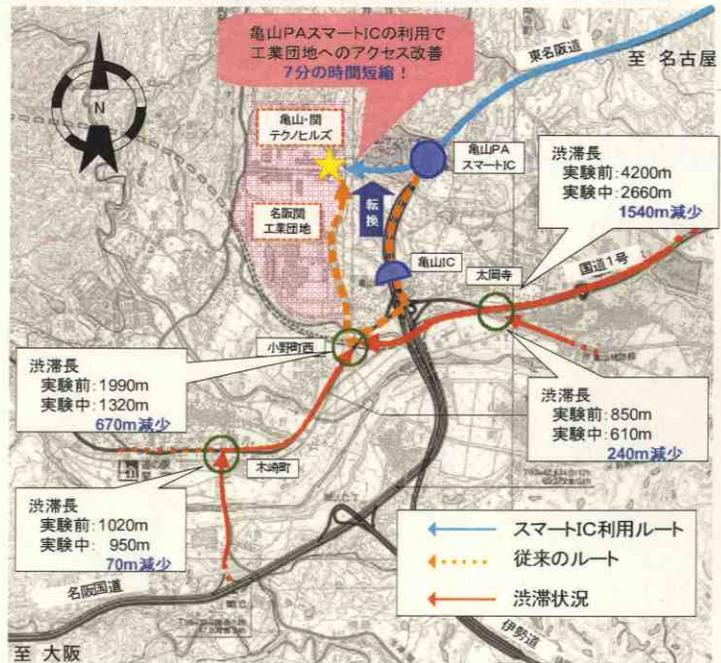


（上記数字は4月～6月の累計来館者数）

コラム スマートICによる地域活性化の支援（社会実験による検証）

・現在、東名富士川SA・遠州豊田PA、東名阪亀山PAにて社会実験実施中。利用交通量は全箇所増加傾向。

・亀山PAは、約1,300台/日の利用があり、亀山IC周辺の交通混雑が緩和。工業団地へのアクセス時間が約7分短縮。



地球環境、自然、観光、景観

歴史・文化・自然を活かした中部観光交流拡大プロジェクト

【まんなかプロジェクト12】

生活圏域等の連携強化を図る幹線道路等の整備により、地域間の交流・連携の拡大を図ります。

交通渋滞の緩和及び地域経済の支援のため、観光資源に恵まれた高山市やその周辺市町村と東海北陸自動車道とを直結する中部縦貫自動車道の整備を推進します。

平成19年度は、高山西IC(仮称)～高山IC(仮称)間を供用します。

中部縦貫自動車道(高山清見道路)<岐阜県>〔国〕



延伸する高山清見道路

東紀州の中心都市である尾鷲市と熊野市を結び、地場産業のみならず熊野古道等の自然、歴史、文化を活かした東紀州の地域づくりを支援する熊野尾鷲道路の整備を推進します。

平成19年度は、尾鷲南IC(仮称)～三木里IC(仮称)間を供用します。

一般国道42号熊野尾鷲道路<三重県>〔国〕



熊野尾鷲道路の施工状況

自然環境や温泉等の観光資源に恵まれた伊豆半島に高速サービスを提供し、さらに観光交通の集中による慢性的な交通渋滞を緩和するため、伊豆縦貫自動車道の整備を推進します。

平成19年度は、東駿河湾環状道路の岡宮IC(仮称)～塚原IC(仮称)間、天城北道路の修善寺IC～大平IC(仮称)間を供用します。

伊豆縦貫自動車道

(東駿河湾環状道路・天城北道路・河津下田道路(期))<静岡県>〔国〕

中央自動車道と第二東名高速道路を連絡し、三河・遠州・南信州地域相互間の連携を強化するため、三遠南信自動車道の整備を推進します。

平成19年度は、飯橋道路の飯田南JCT(仮称)～天竜峡IC(仮称)間を供用します。

三遠南信自動車道(飯橋道路・三遠道路・佐久間道路)<静岡県・愛知県・長野県>〔国〕



三遠南信自動車道(飯橋道路)

道整備交付金の連携イメージ



地域再生を支援するため、農林業等の振興や都市・物流拠点等との連絡強化を目的として、市町村道、広域農道、林道の一体的整備を推進します。

道整備交付金<静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・静岡市>〔県・市町村〕

サイクリングを楽しみながら観光施設等の地域の魅力を堪能するサイクルツアー推進事業に取り組む美濃市等において、サイクリングロード網を整備し、地域観光を支援します。



サイクルツアー-美濃地区



サイクルツアーイメージ

サイクルツアー<岐阜県>〔市〕

生活環境、対話型行政

中部の豊かな住まいづくりプロジェクト 【まんなかプロジェクト13】

少子・高齢社会に対応するため、面的なバリアフリー化や無電柱化等による街並み整備を推進します。

安全で快適な歩行空間を確保し、街並みの景観向上を図るため、一般国道1号よっかいち四日市市川原町、一般国道19号かすがい春日井市勝川町等において、電線共同溝の整備等による無電柱化を推進します。

電線共同溝整備事業

<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・名古屋市・静岡市>〔国・県・市〕



整備前



整備後

一般国道41号 にしかすがい西春日井郡とよまちょうあやま豊山町青山地区

三島市大社町地区において、車両の流入を制限、歩行者及び自転車の優先通行、無電柱化等を一体的に実施する「くらしのみちゾーン」を形成します。

くらしのみちゾーン<静岡県>〔県・市〕

県道^{いわさきなごや}岩崎名古屋線、県道^{しずおか}静岡環状線等において、地球環境に優しい自転車を安全かつ快適に利用できる道路交通環境を形成するため、自転車と歩行者の通行区間の構造分離や駐輪場の整備等を推進します。

安全・快適な自転車利用環境整備の推進

<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・

名古屋市・静岡市>【国・県・市】



自転車道 歩行者道
自転車と歩行者の分離
(標識・路面表示をよりわかりやすく)

交通結節点ユニバーサルデザインプロジェクト 【まんなかプロジェクト14】

公共交通機関の乗り継ぎ等の利便性向上のため、駅等の交通結節点において、鉄道、道路等の各事業者が連携し、バリアフリーに対応した歩行者空間の確保等を推進します。また、幹線道路等の安全性を高めるため、交差点改良等の交通事故抑止対策を実施します。

静岡^{しずおか}駅周辺において、駅及び駅前広場と周辺地域の連携の強化、鉄道やバスの乗り継ぎの利便性等の向上、及び地下道部のバリアフリー化等を一体的に推進します。平成19年度は、静岡^{しずおか}駅前交通結節点改善事業を完成します。

一般国道1号静岡^{しずおか}駅前交通結節点改善事業

<静岡市>【国】



静岡駅前交通結節点改善事業イメージ

春日井市高蔵寺^{かすがい こうぞうじ}駅周辺地区等において、高齢者、身体障害者等に配慮した安全で快適な歩行空間を確保するため、交通バリアフリー法に基づき、バリアフリー歩行空間ネットワークの整備を推進します。

バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業

<静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市・静岡市>【国・県・市】

幹線道路における交通事故データに基づく事故対策、生活道路における「あんしん歩行エリア」等の整備による面的な交通事故対策を、名古屋市街地等で一体的に推進します。

交通事故対策事業（一般国道1号三ツ谷^{みつや}交差点改良等）

<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・名古屋市・静岡市>【国・県・市】

一般国道1号^{まつだばし}松田橋交差点



整備前



交差点の事故が解消！



整備後：交差点の円滑な交通を目的としたカラー舗装

住民と協働した地域づくりプロジェクト 【まんなかプロジェクト15】

NPO等との協働により防護柵等の簡易な塗装や補修を行うプチメンテナンス、地域住民団体、企業等と道路管理者が協定を結び植栽等の美化活動等を行うボランティア・サポート・プログラム、道路情報の収集・提供の拡充を図るROADパートナー、道路情報の取り次ぎ拠点となるロード・セーフティステーション等、住民参加型の道づくり・地域づくり施策を一層推進します。

「ボランティア・サポート・プログラム」「ROAD
パートナー」「ロード・セーフティステーション」
<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・

名古屋市・静岡市>〔国〕



ボランティア・サポート・プログラムによる道路植栽

防災

東海・東南海・南海地震等対策強化プロジェクト 【まんなかプロジェクト16】

緊急時に輸送ルートを確認し、物流機能を維持するために、橋梁の耐震化や共同溝等の整備を推進します。

大規模地震に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するため、緊急輸送道路等の橋梁を対象に策定された「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」の平成19年度末の概ね完了を目指し、一般国道246号湯舟高架橋の橋脚耐震補強等、東海地震に係る地震防災対策強化地域等の震災対策事業を推進します。

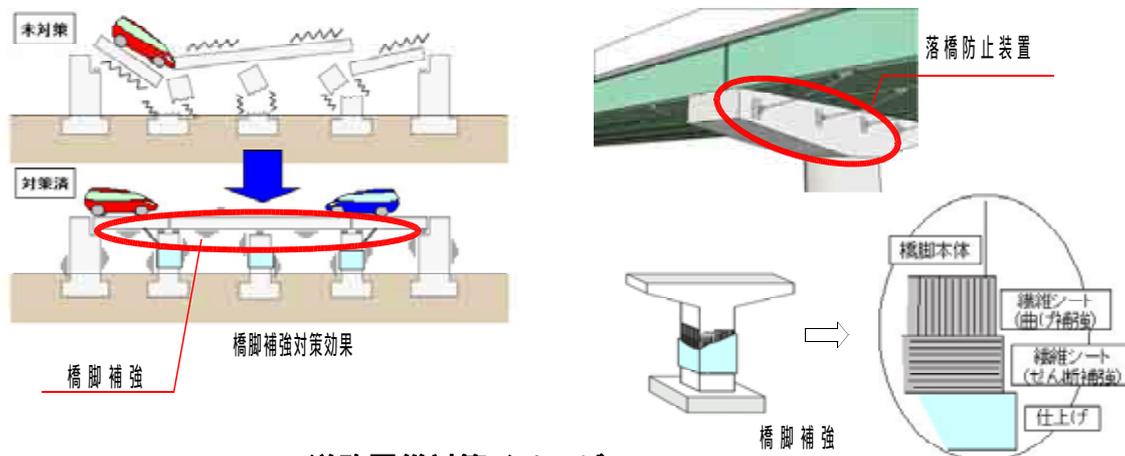
道路震災対策事業（一般国道246号湯舟高架橋等）

<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・名古屋市・静岡市>〔国・県・市〕

「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」(H17～H19)の進捗状況

平成19年度末 管内約1,000橋の耐震化が概ね完了(98%)

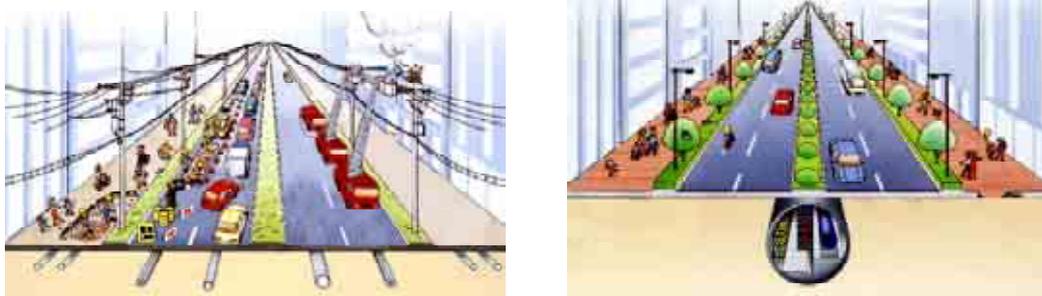
- ・直轄国道 約700橋
- ・県管理道路 約300橋（主要な防災拠点等を結ぶ優先確保ルート上の橋梁）



道路震災対策イメージ

災害に強いライフラインを確保するため、一般国道1号静岡市長沼、19号春日井市勝川町、302号名古屋市緑区等において共同溝整備を推進します。

共同溝整備事業 <愛知県・三重県・名古屋市・静岡市>【国】



整備前

共同溝整備イメージ

整備後

風水害・湯水に強い地域づくりプロジェクト【まんなかプロジェクト17】

集中豪雨や土砂災害等に対応するため、橋梁架替事業や斜面崩落危険箇所への道路防災施設等の整備を計画的かつ段階的に推進します。

都市内大規模建造物の防災機能並びに耐震機能を向上させるため、一般国道1号一色大橋等の架替事業を推進します。

一般国道1号一色大橋架替<名古屋市>【国】



一般国道1号一色大橋架替

豪雨等による落石等に対する防災機能の向上を図るため、斜面の落石崩壊危険箇所対策を推進します。また、平成18年7月豪雨による災害等の発生を踏まえ、斜面等の現状を広域的に把握するため、防災点検を実施するとともに、危険度に応じた適切な対応を推進します。

落石崩壊危険箇所対策<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・静岡市>【国・県】

安全な生活環境を確保するために、岐阜県飛騨地域の生活幹線道路である一般国道360号宮川細入道路等の整備を推進し、安全で快適なみちづくりを推進します。平成19年度は一般国道360号宮川細入道路を全線供用します。

一般国道360号宮川細入道路<岐阜県>【国】

防災情報提供等プロジェクト【まんなかプロジェクト18】

東海・東南海・南海地震等大規模災害に備え、中部地方全域の災害や道路規制に関する情報を一括収集し、提供すべき最適な情報を迅速かつ的確に道路情報板、路側放送、道の駅等で提供できるシステムの構築を推進します。



道路管理情報提供

統合道路情報センター（モニター室）

<静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・三重県・名古屋市・静岡市>【国】

道の駅等において、災害等の緊急情報や施設情報等を次世代車載器（カーナビ等）に提供する実証実験等を開始します。

DSRC（路車間通信方法）を活用した次世代型情報提供の実証実験等【国】



くまのおわせ
一般国道42号 熊野尾鷲道路

1. 事業箇所

みえ おわせ みなみうら みえ くまの おおどまりちよう
三重県尾鷲市南浦～三重県熊野市大泊町

2. 事業概要

一般国道42号熊野尾鷲道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となって、三重県尾鷲・熊野地域への高速交通サービスの提供、並びに現道42号の雨量規制区間の解消を目的に計画された三重県尾鷲市南浦から熊野市大泊町に至る延長18.6kmの一般国道の自動車専用道路です。



未供用のIC名称については、すべて仮称

3. 整備効果

平成19年度に尾鷲南IC(仮称)～三木里IC(仮称)間(L=5.0km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

災害発生時の孤立化の解消

- ・大雨による事前通行規制や災害発生時に孤立化する地域を一部解消します。

所要時間の短縮（病院）

- ・三木里地区から尾鷲総合病院までが約14分で到達可能となります。（13分短縮）



雨量通行規制の状況



豪雨による現道の災害状況

H19完成箇所（直轄）

一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路

1. 事業箇所

岐阜県高山市清見町夏厩～高山市丹生川町坊方

2. 事業概要

一般国道158号高山清見道路は、高規格幹線道路「中部縦貫自動車道」の一部を構成し、岐阜県飛騨地方の中心都市である高山市と東海北陸自動車道を直結し、高速交通サービスの提供、高山市内の交通混雑の緩和、さらには地域発展の支援等を目的に計画された岐阜県高山市清見町夏厩から高山市丹生川町坊方に至る延長24.7kmの一般国道の自動車専用道路です。



3. 整備効果

平成19年度に高山西IC～高山IC（仮称）間（L=6.5km）が国道41号高山国府バイパスの（主）高山清見線～高山IC（仮称）と同時開通することにより、以下の効果が期待されます。

所要時間の短縮（都市間）

- 飛騨地域の高速アクセス30分圏域が拡大します。

（人口割合で45% 62%）

所要時間の短縮（高次医療サービス）

- 白川村から第3次救急医療施設（高山市）まで60分以内で到達可能となります。

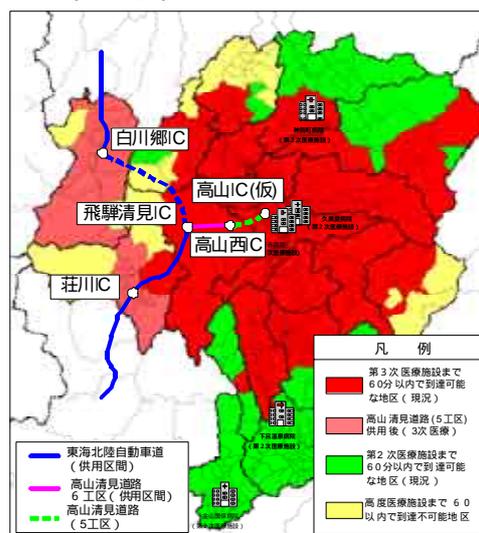
渋滞の緩和

- 主要渋滞ポイントである国道158号上岡本町南交差点の渋滞が緩和されます。

地域振興の支援（観光支援）

- 東海北陸自動車道（飛騨清見IC～白川郷IC間平成19年度開通予定）と直結し、関東、関西、東海はもとより、北陸地域との交流を促進することにより、地場産業の振興、観光産業を支援します。

例）白川郷～高山市街地部までの所要時間が95分 43分に短縮。



第3次医療施設までの60分以内到達可能範囲

H19完成箇所（直轄）

一般国道474号 ^{さんえんなんしん}三遠南信自動車道 ^{いいだか}飯喬道路

1. 事業箇所

^{ながの}長野県 ^{いいだ}飯田市山本～^{ながの}長野県 ^{しもいな}下伊那郡 ^{たかぎむら}喬木村

2. 事業概要

一般国道474号飯喬道路は、高規格幹線道路「^{さんえんなんしん}三遠南信自動車道」の一部を構成し、^{ながの}長野県南信地域への高速交通サービスの提供、主要観光地へのアクセス強化、一般国道256号の通行不能区間の解消等を目的に計画された^{いいだ}飯田市山本から^{ながの}長野県 ^{しもいな}下伊那郡 ^{たかぎむら}喬木村に至る延長22.1kmの一般国道の自動車専用道路です。

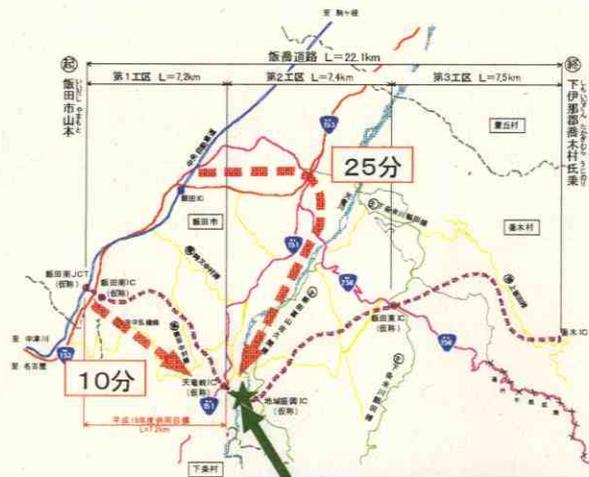


3. 整備効果

平成19年度に^{いいだみなみ}飯田南JCT(仮)～^{てんりゅうきょう}天竜峡IC(仮)間(L=7.2km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

◆所要時間の短縮（地域振興）

- 中央自動車道から南信地域の主要観光地である^{てんりゅうきょう}天竜峡までの所要時間が約15分短縮されます。



^{てんりゅうきょう}天竜峡へ向かう幹線道路の混雑状況



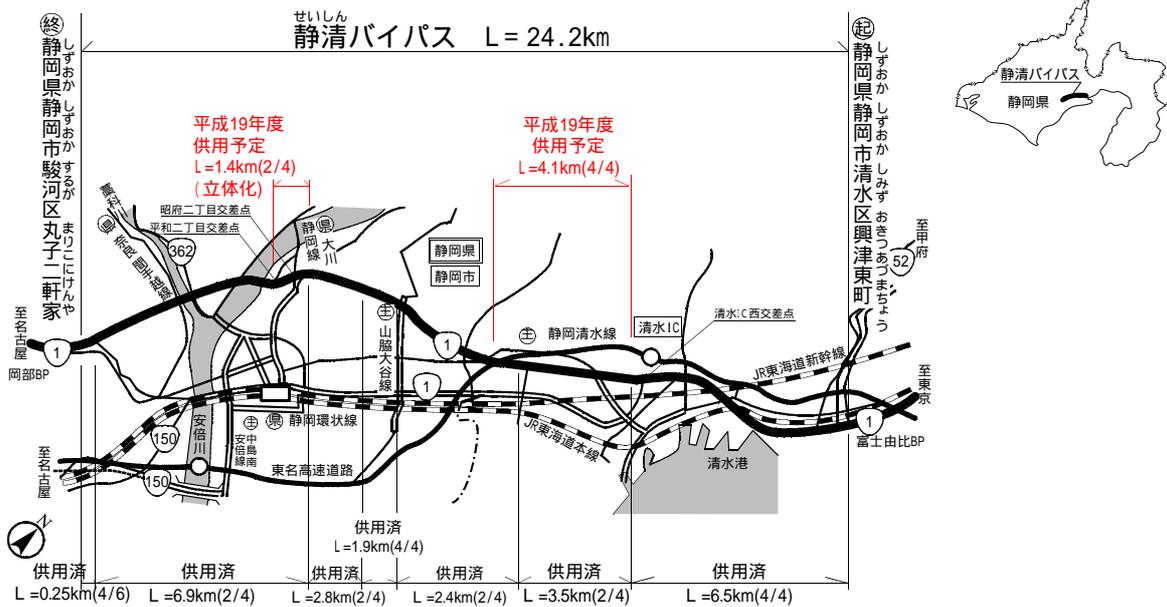
しずおかとうざい 静岡東西道路 一般国道 1号 せいしん 静岡バイパス

1. 事業箇所

しずおか しずおか しみず おきつあづまちょう しずおか しずおか するが まりこにけんや
 静岡県静岡市清水区興津東町～静岡県静岡市駿河区丸子二軒家

2. 事業概要

一般国道1号静岡バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静岡都市圏の発展の支援等を目的に計画された静岡市清水区興津東町から静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの幹線道路です。



3. 整備効果

平成19年度に八坂～鳥坂IC間(L=4.1km)の4車線化が完成することにより、以下の効果が期待されます。

所要時間の短縮（都市間）

- ・庵原地区から静岡市街地まで30分以内でアクセスできるようになります。（混雑時約10分間短縮）

渋滞の緩和

- ・主要渋滞ポイントである清水IC西交差点の渋滞が緩和されます。



清水IC西交差点付近の渋滞状況

平成19年度に昭府IC(仮)～平和IC(仮)間(L=1.4km)の交差点立体化（暫定2/4車線立体化）が完成することにより、以下の効果が期待されます。

所要時間の短縮（都市間）

- ・牧ヶ谷ICから昭府IC(仮)までの混雑時の所要時間が約9分短縮されます。

渋滞の緩和

- ・主要渋滞ポイントである昭府二丁目交差点、平和二丁目交差点の渋滞が緩和されます。



昭府二丁目交差点付近の渋滞状況

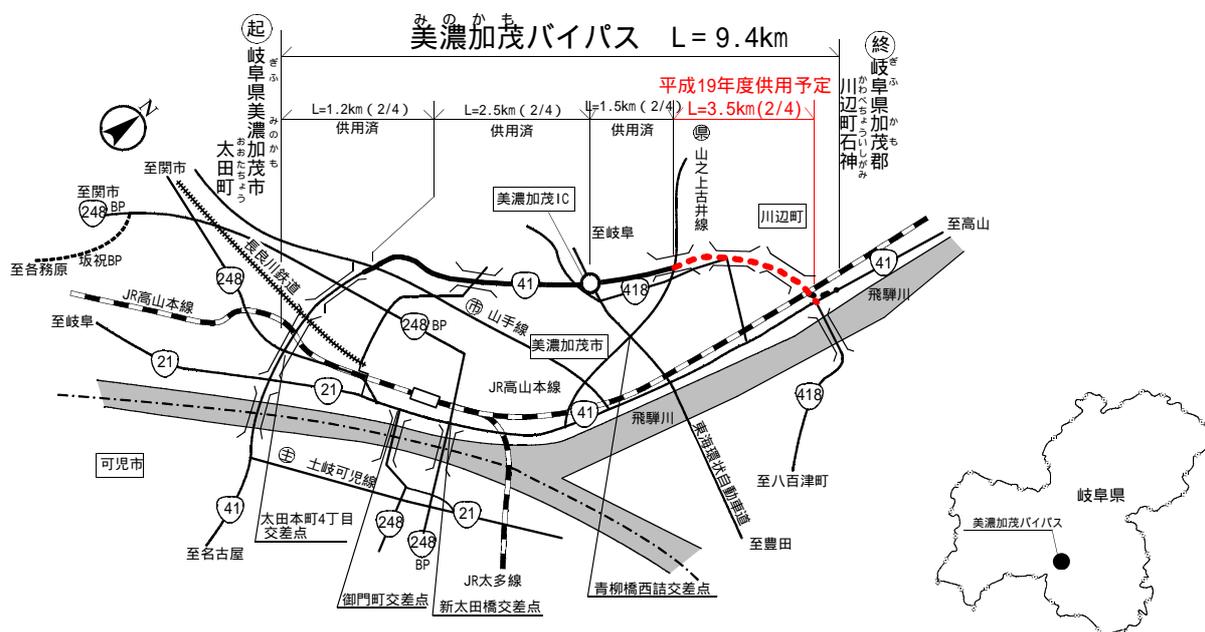
一般国道41号 美濃加茂バイパス

1. 事業箇所

岐阜県美濃加茂市太田町 ~ 岐阜県加茂郡川辺町石神

2. 事業概要

一般国道41号美濃加茂バイパスは、岐阜県美濃加茂市内における41号の交通混雑の緩和、生活環境の改善並びに地域開発の支援を目的に計画された美濃加茂市太田町から岐阜県加茂郡川辺町石神に至る延長9.4kmの幹線道路です。



3. 整備効果

平成19年度に美濃加茂市山之上町 ~ 加茂郡川辺町石神間(L=3.5km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

所要時間の短縮（都市間）

- ・現道の国道41号利用に比べ、可児市 ~ 川辺町の所要時間が約半分に短縮されます。（約20分 約11分）

渋滞の緩和

- ・主要渋滞ポイントである美濃加茂市街部の4交差点の渋滞が緩和されます。（青柳橋西詰交差点、新太田橋交差点、御門町交差点、太田本町4丁目交差点）

地域間交流の促進

- ・国道41号飛騨方面から、東海環状自動車道（美濃加茂IC）に接続し、地域間交流を促進します。



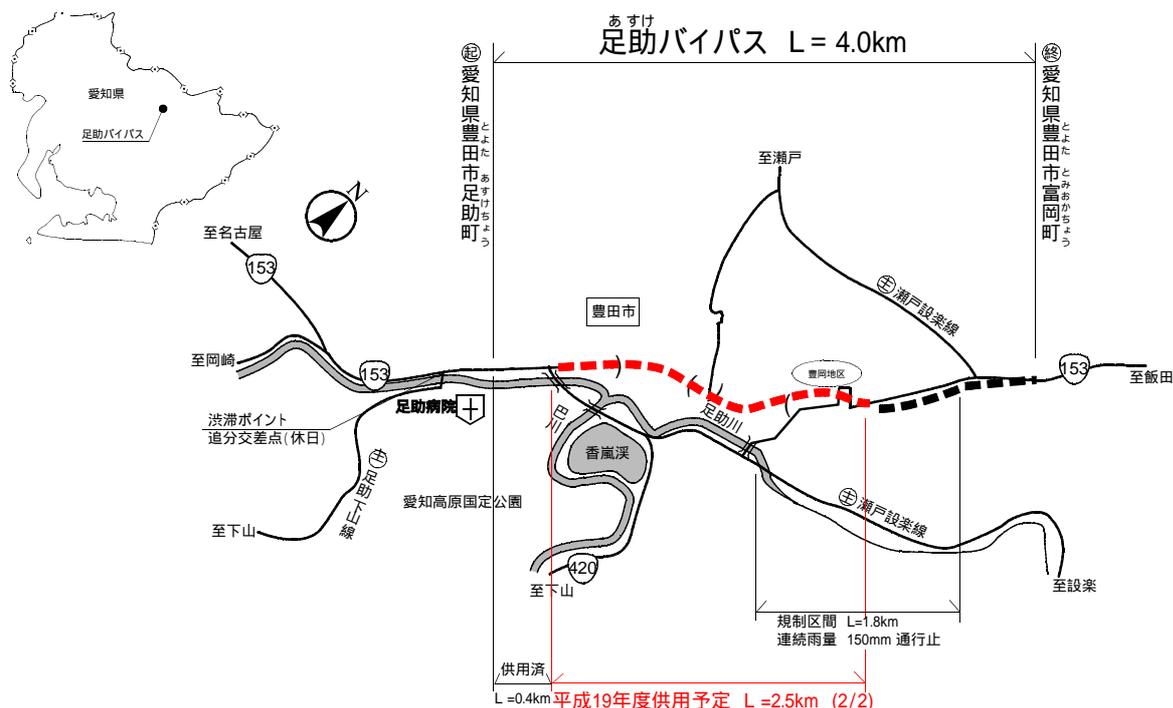
一般国道153号 足助バイパス

1. 事業箇所

愛知県豊田市足助町～豊田市富岡町

2. 事業概要

一般国道153号足助バイパスは、現道153号の狭隘かつ線形不良区間の回避、交通安全の確保、交通混雑の緩和、通行規制区間の解消を目的に計画された豊田市足助町から豊田市富岡町に至る延長4.0kmの幹線道路です。



3. 整備効果

平成19年度に豊田市足助町狭石～同市富岡町下切間(L=2.5km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

雨量規制区間の短縮

- 雨量規制区間が1.8kmから0.8kmに短縮されることにより、一部豊岡地区の孤立化が解消されます。

所要時間の短縮（病院）

- 行楽シーズンにおける豊田市稲武町から足助病院への搬送時間が約45分短縮できます。

渋滞の緩和

- 生活交通と通過交通を分離することにより、交通安全性を向上するとともに、現道の渋滞が改善されます。



雨量通行規制状況



行楽シーズンの渋滞状況

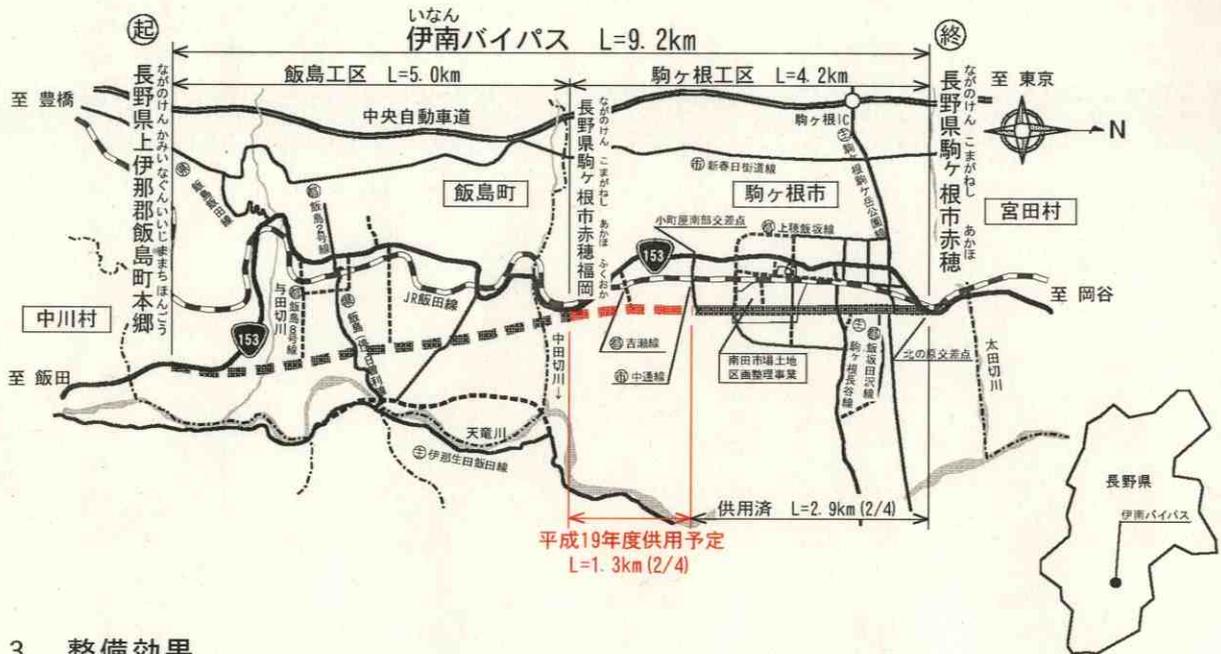
一般国道153号 伊南バイパス

1. 事業箇所

長野県上伊那郡飯島町本郷～長野県駒ヶ根市赤穂

2. 事業概要

一般国道153号伊南バイパスは、長野県上伊那郡飯島町における現道の線形改良、駒ヶ根市の交通渋滞の緩和及び新たな市街地形成を担う骨格道路として計画された長野県上伊那郡飯島町本郷から駒ヶ根市赤穂に至る延長9.2kmの幹線道路です。



3. 整備効果

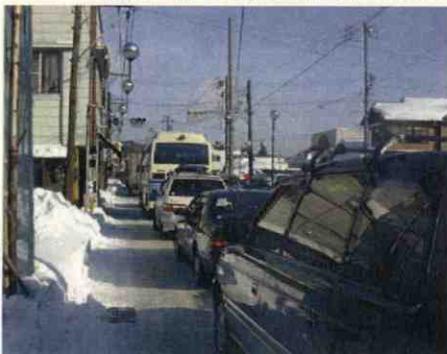
平成19年度に駒ヶ根市赤穂福岡～市道中通線間(L=1.3km)が開通することにより、以下の効果が期待されます。

◆ 渋滞緩和

- ・ 現道国道153号から伊南バイパスへつながる小町屋南部交差点の渋滞が緩和されます。

◆ 所用時間の短縮

- ・ 駒ヶ根市赤穂福岡から北の原交差点（バイパス合流点）までの所要時間が約2分短縮されます。



雪の日の駒ヶ根市内



伊南バイパスへつながる小町屋南部交差点

H19完成箇所（補助）

一般国道365号 員弁バイパス

1. 事業箇所

三重県いなべ市大安町～同県四日市市小牧町

2. 事業概要

一般国道365号員弁バイパスは、一般国道365号の狭隘な未改良区間の解消と、東海環状自動車道大安IC（仮称）、東員IC（仮称）へのアクセス強化、並びにスーパー中枢港湾四日市港への国際標準コンテナ車通行支障区間の解消を目的とした延長12.0kmの4車線（暫定2車線）道路です。

3. 整備効果

平成19年度にいなべ市大安町大泉～員弁郡東員町南大社間（L=1.6km）が開通し、一般国道365号員弁バイパスが全線完成することにより、以下の効果が期待されます。

国際物流基幹ネットワークの構築

滋賀県湖東・湖北地区の物流拠点と、スーパー中枢港湾である四日市港を結ぶ区間の国際標準コンテナ車通行支障区間が解消され、通過時間が従来ルートに比べ約40分短縮でき合理的な物流ルートが形成されます。



H19完成箇所（補助）

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路 一般国道473号 かなやさがら 金谷相良道路

1. 事業箇所

しずおか きくがわ くらさわ まきのほら ひがしはぎま
 静岡県菊川市倉沢～同県牧之原市東萩間



2. 事業概要

かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路は、第二東名から一般国道1号、富士山静岡空港、東名とを結び、重要港湾御前崎港に至る延長約30kmの地域高規格道路として位置づけられています。

かなやさがら 一般国道473号金谷相良道路は、かなやおまえざき 金谷御前崎連絡道路の一部であり、整備が進む富士山静岡空港と東名とのアクセス強化、並びに、静岡県中西部地域の物流拠点から東名や御前崎港へ結ぶ区間の国際標準コンテナ車通行支障区間の解消を目的とした、延長5.3kmの4車線道路（暫定2車線整備）です。

3. 整備効果

平成19年度に一般国道473号金谷相良道路(菊川市倉沢～牧之原市東萩間) (L=5.3km) が全線開通することにより、以下の効果が期待されます。

国際物流基幹ネットワークの構築

- 当該事業区間の国際標準コンテナ車通行支障区間の解消が図られるとともに平成21年に開港予定の富士山静岡空港と東名とのアクセスが図られ、国際競争力の高い産業基盤づくりに貢献します。
 (金谷御前崎連絡道路全線が開通すると御前崎港から一般国道1号のアクセス時間が約14分短縮されます。)



主要事業箇所（直轄）

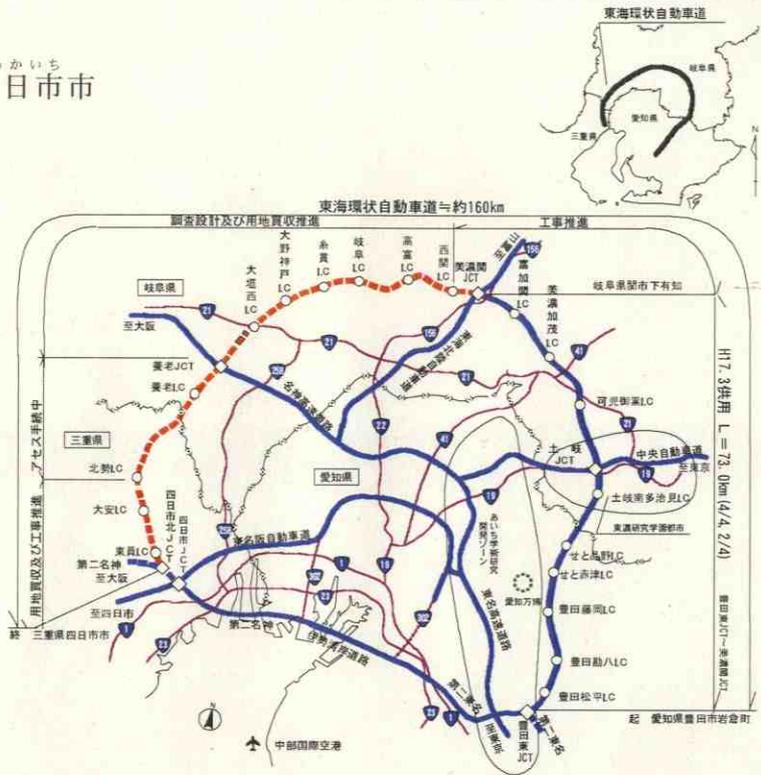
一般国道475号 東海環状自動車道

1. 事業箇所

愛知県豊田市～三重県四日市市

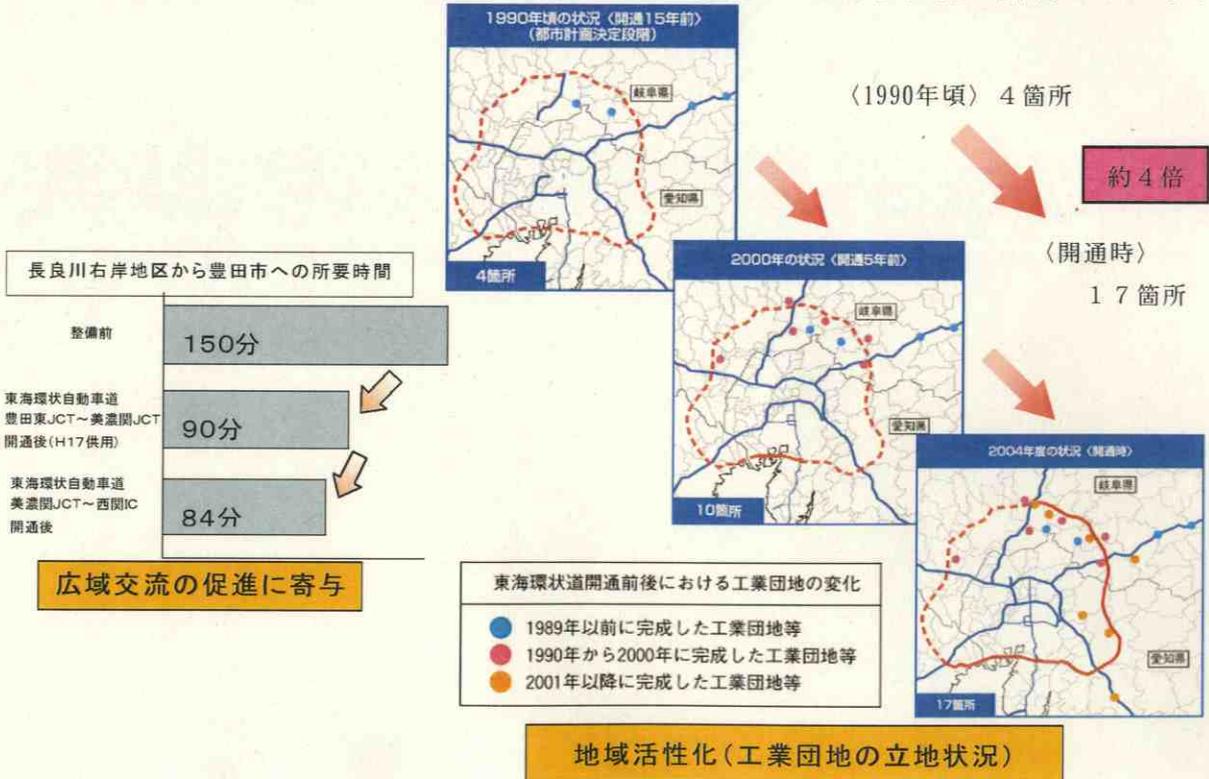
2. 事業概要

一般国道475号東海環状自動車道は、名古屋市を中心に半径30～40km圏に位置する豊田・瀬戸・岐阜・四日市等の諸都市を相互に連絡し、第二東名・名神等と一体となって、名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの一般国道の自動車専用道路です。



3. 整備効果

東海環状自動車道の整備によって、工業団地等の立地が進み地域の活性化が図られており、今後、全線の整備により、岐阜市から豊田市間への所要時間が大幅に短縮されるなど、さらなる広域交流や地域活性化が期待されます。



主要事業箇所（直轄）

一般国道302号（名古屋環状 号線）

1. 事業箇所

名古屋市中川区富田町～名古屋市中川区富田町

2. 事業概要

名古屋環状 号線は、名古屋市街部の外縁を形成する総延長約66kmの環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路と主要地点で連絡し、市内へ集中する交通の分散・通過交通の排除により、都市内の渋滞を緩和し、名古屋市周辺の開発を支援することなどを目的に計画された幹線道路であり、自動車専用道路と一般道路（一般国道302号）の複断面により構成されています。

3. 整備効果

名古屋環状 号線の全線整備によって、名古屋都市圏を通過する交通量が21万台/日から10万台/日に半減すると見込まれ、これに伴って名古屋都心部の交通集中が緩和されます。

さらに、渋滞の緩和による平均走行速度の上昇により大気汚染物質であるSPMやNOx、温室効果ガスであるCO2の排出量の削減が期待されます。

